

ハローワーク敦賀 就職支援業務報告（令和6年度）

別紙3

1. 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

①各指標に対する取組

令和6年度は、令和5年度より取組を始めた求人者に寄り添ったきめ細やかな伴走型の求人充足支援を発展させ、「求人者スマイルアップサポート」という形にし、訪問等による求人確認、職業相談部門との情報共有、求職者への情報提供等に加え、求人者が望む結果に当たらなかった場合にさらなるフォローアップを行うなど、求人の充足支援を重点的に実施しました。

また、求職者に対しては、厚生労働省が運営するウェブサイト「job tag」を活用した「job tagセミナー」を開催し、参加求職者の適職診断を行い、仕事理解を深め、職種に対する視野を広げるきっかけとなるような取組を行いました。併せて、面接に対する心構えや対策等を示した資料の刷新、面接に送り出す際に求職者を激励する資料を作成するなど窓口でのサービス向上にも努めました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

全職員に対して専門性の向上、知識の付与、延いては求人求職者サービス向上を目的に所内研修を実施しました。講師は若手職員、ベテラン職員、就職支援ナビゲーターなど所内の職員が担当した他、労働基準監督署や自治体など外部機関からも講師を招聘し、各担当の専門分野に関する研修を行い、参加した全職員の人材育成はもとより、講師を担当した職員の自己研鑽に繋げました。

また、職業相談に関する事例検討会を定期的に実施し、職業相談職員が受け持つ事例に対する振り返りや今後の対応策について複数人で検討しました。この検討会により、個別の事例に対する解決策の模索、他の職員の事例共有による資質向上を図りました。

(2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

令和5年度はハローワークインターネットサービスの求職者マイページ開設を幅広く周知し、開設者は増加ましたが、それを求職活動で十分に活用できていない求職者が多く見られました。令和6年度においては、マイページのより効果的な利用促進のため、新規求職申込時に実際にマイページを利用いただいて案内を行った他、窓口で求人を提供する際にマイページに情報を送り、その場でメールの確認、マイページを利用いただくなどし、その有用性についての周知に努めました。

また、LINEのリッチメニューを利用したハローワークインターネットサービスへのアクセス、求人情報かんたん検索など、従来より提供していた求人検索サービスの利用促進に加え、二次元コードを活用した求人検索を可能とし、デジタル環境における求人検索の利便性の向上及び周知に努めました。

(3) その他の業務運営についての分析等

ハローワークシステムの刷新により、ハローワークインターネットサービスを利用してハローワークに来所しなくても求人を検索・閲覧できるようになったことから、ハローワーク窓口利用者は、特定の求人への紹介を希望される方や、相談援助等のニーズをもって来所される方が中心となっていくと思料されます。

このため、職業相談窓口では、来所者との対話による相談を重視し、求職活動の進捗状況、不安や悩み、就職を妨げる課題の確認を行いつつ、必要な支援を提供することを徹底いたします。

また、来所を待つだけではなく、ハローワークが的確な求人を選定して提案する求人提案型紹介やオンラインを活用した求人情報の提供、各種セミナーや面接会、求人企業説明会等を積極的に実施していくとともに、在職者を含めたオンライン登録者に対するハローワーク窓口の利用を促し、能動的なマッチングの推進を図ります。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

令和6年度の職業紹介件数は2,723件であり、令和5年度の2,693件と比較して30件（約1%）増加しましたが、令和2年度からの5年間では減少傾向にあります（令和2年度紹介件数3,271件）。

また、人手不足の状況が続いている求人者から充足への期待が多く寄せられる中、より積極的な職業紹介を行い就職に結びつけることが重要と思料されます。

このため、令和7年度は求職者への積極的な求人情報提供に取り組み、提供した求人に応募しない場合はその理由を聴取し次回以降の情報提供や窓口相談に反映させ、紹介・応募や採用に繋がるよう努めるとともに、求人者へのフィードバックや求人条件緩和に活用します。

なお、条件はあっていいるものの職業紹介に結びつかない、応募しても不調が続くなど求職者の解決すべき課題があると考えられる場合は、その課題に沿った支援サービスを提供することとします。

2. 総合評価

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者早期再就職割合	満足度（求人者）	満足度（求職者）	⑧人材不足分野の就職件数	①生活保護受給者等の就職率						
令和6年度目標	1,355	1,189	38.7%	90.0%	95.0%	274	68.1%						
令和6年度実績	1,209	1,096	38.5%	88.7%	94.1%	263	71.6%						
目標達成率	89%	92%	99%			95%	105%						

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。